

「長野県公営企業経営戦略」の進捗状況について

企業局

事業	指標名	基準値 (H26)	H28末 (実績)	H29末 (実績)	H30当初 (目標)	H31当初 (目標)	目標 (H37)	備考
電気	企業局の電力量で賄える県内世帯数の割合	12.2% (約9万9千世帯)	12.4% (約10万1千世帯)	12.4% (約10万1千世帯)	12.5% (約10万2千世帯)	12.6% (約10万2千世帯)	12.6% (約10万2千世帯)	H28 高遠さくら、水芭蕉発電所完成 ⇒1,750世帯分増 H29 奥木管発電所出力増強 ⇒200世帯分増 H30 小洪第2発電所出力増強 ⇒700世帯分増 H31 横川蛇石発電所完成⇒420世帯分増 ※H26実績に新規発電所等の年間想定発電量を追加した理論値
	発電所建屋の耐震化率	57.1% (8/14)	92.9% (13/14)	92.9% (13/14)	92.9% (13/14)	92.9% (13/14)	100.0% (14/14)	残り1か所 西天:H29～H32大規模改修を実施
	ダム耐震性能照査	1か所 (1/3)	3か所 (3/3)				3か所 (3/3)	H26 高遠ダム、H27 湯の瀬ダム、H28 菅平ダム全て完了、安全性を確認済
末端給水	有収率	88.4%	89.0%	89.1%	89.9%	90.0%	91.0%	・老朽管更新(H31:2.7km) 【有収率向上に向けた取組】 ・時間積分式漏水調査機器による検針時の漏水調査 ・高感度音圧センサー搭載機器による漏水調査 ・路面音聴、戸別音聴調査による漏水位置の特定
	基幹施設(浄水場)の耐震化率	50.0% (1/2)	50.0% (1/2)	50.0% (1/2)	50.0% (1/2)	100.0% (2/2)	100.0% (2/2)	諏訪形浄水場の耐震化 (H31全基幹施設耐震化完了) H29～31 諏訪形浄水場浄水池増設
	基幹管路の耐震適合率	84.6% (265.6km)	86.3% (271.1km)	87.0% (273.2km)	88.0% (276.4km)	88.4% (277.6km)	100.0% (314.0km)	送水管及びφ200mm以上の配水管の耐震化 (完了をH36年度に前倒し) H31～32 坂城町網掛工区等 14か所 (5.7km)
	重要給水施設に至る管路の耐震適合率	71.2% (46.1km)	71.9% (46.6km)	73.8% (47.8km)	75.2% (48.7km)	75.9% (49.2km)	100.0% (64.8km)	重要給水施設(全43施設)に至る管路の耐震化(1年完了前倒し) H31～32 千曲市戸倉工区等 10か所 (4.2km)
	老朽管残存率 (上田～千曲間送水幹線を除く。)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	老朽管更新工事により更新基準超過を防止 (H31:2.7km)
「安心の蛇口」整備数 上段:当該年度設置数 下段:累計	0か所 (H27 1か所)	1か所 (2か所)	3か所 (5か所)	2か所 (7か所)	2か所 (9か所)	20か所※ (当初11か所)	H31:2か所(上田市、長野市) ※H28.4の熊本地震を踏まえ、設置数を倍増(11⇒20)及び前倒し整備	
用水供給	基幹施設(本山浄水場)の耐震化率	0.0% (0/1)	0.0% (0/1)	0.0% (0/1)	0.0% (0/1)	0.0% (0/1)	100.0% (1/1)	本山浄水場の耐震化(H36完了予定) H28～30 既設浄水池の耐震化工事 H31 洗浄水槽 H33～34 排水池 H35～36 排泥池・濃縮槽
	管路の耐震適合率 (送水幹線を除く)	76.9% (37.2km)	77.9% (37.7km)	82.1% (39.8km)	84.7% (41.0km)	86.8% (42.0km)	100.0% (48.4km)	支線の耐震化(完了をH35年度に前倒し) H30～31 並柳支線等2か所(1.0km) H31～32 東山支線1か所(1.1km)